

富里定住促進プラン

日本の人口が近い将来、減少期に移行するものと予想される中で、これからは富里においても特定の年齢層や世帯層にかたよることなく、バランスのとれた人口・世帯構成を確保するよう努めていきます。また、少子・高齢化によってまちの人口構造が急変すると、経済活力の低下や社会保障負担の増大などの問題が生じるものと予測されます。

このため、今後は安心して子どもを生み、育てることができるよう、また新しい時代を担う子どもが健やかに育つような地域づくりを目指します。

一方、高齢者については、介護が必要な状態にあっても適切なサービスを利用しながら自立した生活を送れるよう福祉の充実を図るとともに、高齢者がいきいきと働き、楽しみ、社会に貢献できるような地域づくりを目指します。

こうした少子・高齢化対策に積極的に取り組むとともに、あわせて壮年ファミリー層の定住と誘引を目指すことにより、ライフサイクルに応じた定住の促進を図ります。

ライフサイクルに応じた定住の促進

